

ダイバーシティ就労支援スタッフの養成に向けた研修について（案）

2022年4月22日

I. 概要

障害者就労支援施設が、障害者以外の多様な就労困難者を受け入れるため等、ダイバーシティ就労支援に取り組む団体等の就労支援スタッフを養成する研修を行う。

II. 検討課題

- 研修は、1) ダイバーシティ就労支援の意義の理解、2) 有効活用が可能な現行制度（主に就労訓練制度）の理解、3) 態様別の特性理解、4) 支援の質を高めるためのアセスメントツールの活用、訓練プログラムの作成の演習、5) 企業での実地研修受け入れ方策の学習、等から構成する。
- 関連団体が実施している研修で、ダイバーシティ研修で援用できるものを把握し取り入れる。
- スタッフ養成研修用テキスト、ビデオを作成する。
- 既に支援現場で支援に関わっている方を対象に行う形になるため、オンライン研修の活用、研修期間の長短、実施間隔（週1日で合計4回等）等、受講者の負担が最も少ない形で設定する。
- 「ダイバーシティ就労支援士」等の資格付与、その他受講のメリット・インセンティブを検討する。

III. 研修実施までのスケジュール（案）

- 2022年11月研修実施 ⇒ 2023年度本格実施
- 連休前後に、作業チームで全体討議
- 7月に機構HPで事前報知
- 9月末までに、テキスト、ビデオ（引きこもり、難病、LGBTQの特性を踏まえた取り組み、各15分）の作成
- 8月下旬（9月上旬）～10月半ば 受講生募集
- 9月半ば テキスト・ビデオのお披露目検討会（企画委員会メンバー有志を含む。）
- 11月研修実施。

IV. 早急対応事項

1. ダイバーシティ就労支援スタッフ養成研修作業チームの早期発足

- メンバー案

朝日雅也埼玉県立大学教授（座長）、池田徹生活クラブ風の村理事長、

西岡正次 A ‘ワーク創造館副館長、春名由一郎障害者職業総合センター副統括研究員

2. テキスト、ビデオの早期作成

- ビデオは、引きこもり、難病、LGBTQ、刑務所出所者につき、9月上旬目途で作成。